

笹田 哲（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 笹田哲（編著）：動ける 学べる 自信がもてる不器用さへの支援.LD ADHD &ASD,no22, 特別支援教育士資格認定協会（編）,明治図書.pp6-41.2020.7.
- 2) 鈴木みゆき, 笹田哲, 堤ちはる（監修）：発見！お手伝いやってみ隊！. 独立行政法人国立青少年教育振興機構. 2021. 2.

2 学術論文

- 1) Sho Maruyama, Satoshi Sasada, Yohei Jinbo, Peter Bontje:A Concept Analysis of Clinical Reasoning in Occupational Therapy. Asian Journal of Occupational Therapy .Volume 16,119-127,2020.
- 2) 笹田哲：子どものできたが増える生活動作・学習動作の指導.あきた小児保健, 第 56 号,17-23.2020.
- 3) 池田公平, 笹田哲:回復期リハビリテーション病棟における脳卒中片麻痺患者の主観的経験が作業に及ぼす影響. 作業療法, 39(4), 433-441, 2020.
- 4) 池田公平, 笹田哲:回復期リハビリテーション病棟入院患者に対してセラピストが実践している多職種連携実践の可視化. 日本作業療法研究学会雑誌, 23(1), 37-45, 2020.
- 5) 村仲隼一郎, 笹田哲：我が国におけるクライアントの Quality Of Life に対する作業療法実践の文献研究 - 38 の事例報告 -. 作業行動研究 24(2)：50-61, 2020.
- 6) 重田優子, 笹田哲：「おしゃれ」というナラティブを共有することで意志と習慣が変化した訪問リハビリテーションの一事例. 作業行動研究. 24(2)：79-86, 2020.
- 7) 村仲隼一郎, 笹田哲：本邦における脳卒中者の Q O L の概念分析. 作業行動研究. 作業行動研究 24(4)：10-18, 2021.
- 8) 村仲隼一郎, 笹田哲, 牛腸昌利, 水野健, 重田優子：国内の作業療法介入研究における Quality Of Life の定義と測定に関する文献研究. 日本作業療法研究会雑誌, 24(1), 36-44, 2021.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) NHK Eテレ特別支援教育「ストレッチマン・ゴールド」番組企画委員
- 2) 教育出版社 小学校教科書「国語科書写」 編集委員
- 3) 教育出版社 中学校教科書「国語科書写」 編集委員
- 4) 横須賀市建築審査会委員 2020. 7.
- 5) 横須賀市支援教育推進委員会委員 2020. 9.
- 6) 日本作業行動学会 理事

- 7) 日本発達系作業療法学会 理事
- 8) 日本発達系作業療法学会 学術誌査読委員
- 9) 第54回日本作業療法学会 演題採択委員

5 社会貢献

- 1) 神奈川県立養護学校自立活動（専門職）OT 部会アドバイザー2020.10.
- 2) 東京都立西八王子特別支援学校 外部専門員 2020.10.
- 3) 独立行政法人 障害者職業総合センター職業センター， 青年期発達障害者への職業トレーニング アドバイザー2020.7.

6 講演，放送等

- 1) NHK Eテレ「ウワサの保護者会」気になる姿勢の治し方. 出演. 2021.10.
- 2) 朝日新聞社 「朝日進学情報」指先を器用に動かそう. 2021.9.
- 3) 日経 DUAL 鉛筆正しく持てない 原因は指先と姿勢 NG 例と改善法. 2020.12.
- 4) 朝日新聞社 「朝日小学生新聞」生活の中で体を「かしこく」 2021.8.

7 学会等での活動

- 1) 笹田哲，平野理沙：小学校授業で使用される学用品の種類と学年との関係について. 第54回日本作業療法学会(新潟/Web). 2020.9.
- 2) 平野理沙，笹田哲：小学校で使用する物品と求められる動作能力について. 第54回日本作業療法学会(新潟/Web). 2020.9
- 3) 高見澤広太，中村拓人，笹田哲：発達領域における書字動作への取り組み－文献研究－. 第54回日本作業療法学会(新潟/Web). 2020.9
- 4) 杉山いずみ，笹田哲. 重症心身障害者の生活介護事業利用における作業参加について－人間作業モデルスクリーニングツール (MOHOST) による分析から－. 第54回日本作業療法学会 (新潟/web). 2020.9
- 5) 村仲隼一郎，笹田哲：我が国におけるクライアントの Quality Of Life に対する作業療法実践の文献研究 - 38 の事例報告 -. 第54回日本作業療法学会 (新潟/web). 2020.9
- 6) 重田優子，中村拓人，笹田哲：男性脳卒中者が地域において役割を持ち社会参加を継続していくプロセス-複線径路等至性アプローチを用いた質的研究-. 第54回日本作業療法学会(新潟/web). 2020.9.
- 7) 金原衣理子，池田公平，笹田哲：ファッションショーを通してみられた脳血管障害者の心理・行動の変化. 第54回日本作業療法学会(新潟/Web). 2020.9.
- 8) 森木勇一郎，池田公平，中村拓人，笹田哲：介護老人保健施設において作業療法士が介護職と連携する為の方略. 第54回日本作業療法学会(新潟/web). 2020.9
- 9) 田中雅士，笹田哲:保健医療分野における健康統制感尺度の活用に関する文献研究. 第54回日本作業療法学会(新潟/Web). 2020.9.

- 10) 佐藤慶一, 池田公平, 笹田哲:回復期リハビリテーション病棟の作業療法士が脳血管障害者のトイレ動作を自立と判断するプロセス-文献レビューより-. 第54回日本作業療法学会(新潟/Web). 2020. 9.
- 11) 牛腸昌利, 笹田哲, 藤本幹, 羽根田樹, 埜由貴: 健常成人の利き手・非利き手の運筆における頭部・前腕・手の協調運動の関連. 第54回日本作業療法学会(新潟市/Web). 2020. 9.
- 12) 牛腸昌利, 笹田哲:小学生児童の運筆における頭部・上肢運動の傾向. 第10回国際医療福祉大学学会(赤坂/Web). 2020. 11.
- 13) 佐野未歩, 中村拓人, 長山洋史, 笹田哲: 自閉スペクトラム症児のための参加質問紙の開発-項目の開発と作業療法士による内容妥当性の検証-. 日本発達系作業療法学会(名古屋/web) 2021. 2
- 14) 小山さくみ, 中村拓人, 長山洋史, 笹田哲: 自閉スペクトラム症児のための参加質問紙の開発-多職種と研究者による内容妥当性の検証-. 日本発達系作業療法学会(名古屋/web) 2021. 2
- 15) 藤谷朝実, 飯田綾香, 田村文誉, 笹田哲, 行實志都子, 高田健人, 大和田浩子, 杉山みち子, 中村丁次: 通所事業所利用障害児・者の栄養ケア・マネジメントのための「栄養アセスメント・モニタリングシート」. 第42回日本臨床栄養学会(新潟市/web)2020. 10.

8 学内教育活動

- 1) 大学院博士論文 指導教員 5名(1名修了)
- 2) 大学院修士論文 指導教員 7名(2名修了)
- 3) 学部 卒業研究 指導教員 4名
- 4) 2020年 Web オープンキャンパス リハビリテーション学科の紹介

9 学内各種委員会活動

- 1) 学長補佐会議
- 2) 総務企画委員会
- 3) 学科長会議
- 4) 教育研究審議会
- 5) 地域貢献研究センター運営会議
- 6) 研究科運営委員会
- 7) 第2次将来構想検討委員会

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 厚生労働科学研究費助成事業「障がい者が快適な日常生活を営むための食事提供等の実態把握及び改善手法の検証等のための研究」研究分担
- 2) 東京都新製品新技術開発助成事業「運動療育システムの開発」研究分担

- 3) 神奈川県作業療法士会研究助成事業 「運筆に影響する座位姿勢条件と頭部運動制御、体幹筋活動の関連」 研究分担

12 受賞

- 1) 第10回国際医療福祉大学学会 優秀演題賞
牛腸昌利，笹田哲：小学生児童の運筆における頭部、上肢運動の傾向
(博士論文の一部)

森田 千晶（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 森田千晶. 末梢神経損傷, 一般病院. 下田信明 (編). PT/OT のための臨床実習の鉄則. 東京: 金原出版株式会社; 2020.p.188 - 193.

3 その他の著作

- 1) 三輪書店 国家試験模擬試験問題 (義肢装具、福祉用具) 作成 7 件

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本リハビリテーション工学協会: 理事 (2023 年 7 月まで)
- 2) 公益財団法人テクノエイド協会: 義肢装具士国家試験委員 (令和 4 年 5 月 31 日まで)
- 3) 神奈川県作業療法士会: 「2020 年度臨床実習指導者講習会」世話人 (2020 年 10 月 3, 4 日)
- 4) 乗馬リハビリテーション研究会事務局 (令和 4 年 3 月まで)

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス: ウェブオープンキャンパス用の作業療法学専攻紹介動画の作成
- 2) 出張授業: 2020 年 10 月 14 日 (水) 神奈川県立新城高等学校
- 3) 入試説明会: 2021 年 3 月 25 日 (木)

7 学会等での活動

- 1) 第 36 回日本義肢装具学会学術大会 一般演題「義手 I」座長 2020 年 11 月 1 日
- 2) 2020 年度乗馬リハビリテーション研究会勉強会 主催 2021 年 2 月 14 日

8 学内教育活動

- 1) 「作業療法学概論」1 年次: 作業療法の概要を日本作業療法士協会の紹介動画などを用い、オンラインでも具体的にわかりやすく教授する努力をした。新型コロナウイルス感染症の影響で当事者を迎えることができなかったが、障害当事者をテーマとした映画や書籍を紹介し、読書・視聴を促した。
- 2) 「研究法概論」3 年次: 4 年で行う卒業研究を具体的にイメージできる授業を心掛け、研究法の基本を教授した。オンラインにおいてもブレイクアウトルームを活用し学生同士で議論する時間を設けアクティブラーニングを試みた。
- 3) 「義肢装具学」後期授業であったため、座学はオンライン、装具作成演習はマスク、フェイスシールド着用を徹底し、また、クラスを半分に分け演習講義を 2 回ずつ行うことで、密になることを避けた。
- 4) 「卒業研究 (4 名指導)」入構禁止のため、研究指導はすべてオンラインで行い、新型コロナウイルス感染症のなかでも可能な研究テーマと研究デザインを指導し、研究をまとめることができた。
- 5) 「臨床実習」2 年生評価実習 I、3 年生評価実習 II、4 年生総合臨床実習 II は新型コロナウイルス感染症のため、学外実習が中止となり学内実習に切り替えた。事例を準備し、オン

ラインを中心に規定の実習時間数を行った。4年生の実習では一部、演習形式をとり、患者の移乗動作などの動作方法の指導を行った。

9 学内各種委員会活動

- 1) 国際協働部門：部門長
- 2) 研究科入試委員会委員

14 その他

- 1) 2020年度は COVID-19 感染症のため臨床実習をはじめ、多くの授業が変更された。専攻内、学科内では臨床実習の感染症対策、実習方法手引きへの感染症対策マニュアルの追加、施設への説明文の作成等を専攻長としてまとめ、進めた。
- 2) 専攻内 FD において、COVID-19 感染症の基幹となっている大学病院の作業療法士から、作業療法場面における感染症対策についての講義をしてもらうことを提案し、白濱准教授が企画し FD を開催した。その後、学科学生に対して改めて講義をしてもらった。
- 3) 新型コロナ感染症神奈川県対策本部保健所支援：厚木保健所（令和3年2月1日～令和3年2月14日）

奥原 孝幸（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 山口芳文, 奥原孝幸, 他 12 名. (2021 年). 山口芳文他編集, 精神障害作業療法学改訂第 3 版. 東京: メジカルビュー社.
- 2) 浅沼辰志, 奥原孝幸, 他 23 名. (2021 年). 浅沼辰志他編集; 作業学改訂第 3 版. 東京: メジカルビュー社.

2 学術論文

- 1) Naoya SUGIMURA, Hisashi EGUCHI, Kosuke MAFUNE, Takayuki OKUHARA, Hisanori. (2021). Spouse Factors Related to Leave Period of Employees on Leave for Deoression. J UOEH, 43 (1), 41-50.

3 その他の著作

- 1) 小砂哲太郎, 奥原孝幸, 他 5 名. アルコール依存症に関する「専門教育」の実情調査 (文研研究) 報告書 「作業療法士」. 厚労省,

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 横須賀市自殺対策連絡会構成員 (副座長)
- 2) 日本作業療法士協会教育部生涯教育委員会生涯教育制度推進担当
- 3) 日本作業療法士協会制度対策部保険委員会委員
- 4) 日本作業療法士協会事例報告登録制度審査委員
- 5) 日本作業療法士協会学会演題審査委員
- 6) 神奈川県作業療法士会理事 (教育部担当)
- 7) 神奈川県作業療法士会代議員
- 8) 日本病院・地域精神医学会選挙管理委員会委員長
- 9) 横浜 CBT に集う会代表
- 10) 首都圏精神科作業療法連絡協議会理事
- 11) 精神科作業療法集談会世話人

5 社会貢献

- 1) 横須賀市保健所自殺対策連絡会 (副座長)
- 2) 神奈川精神医療人権センター電話相談担当

8 学内教育活動

- 1) 精神障害作業療法演習. ピア (当事者) への面接演習を実施.
- 2) 就業援助論. 就労支援施設のピアスタッフ、メンバー、施設長を招き、職業に関してシンポジウム形式にて授業を実施.
- 3) チューター会
- 4) 精神障害作業療法学関連科目の担当

9 学内各種委員会活動

- 1) 人権・倫理委員会（委員長）
- 2) ハラスメント調査委員会委員
- 3) チューター制度におけるチューター

玉垣 努（大学院保健福祉学研究科兼務）

3 その他の著作

- 1) 矢谷玲子 福田恵美子 藤井浩美 編集「日本の作業療法発達史：玉垣努 神奈川県立総合リハビリテーションセンターの脊髄損傷対応の機器、装具に関する経験と研究」株式会社シービーアール,2021年2月20日.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 令和2年度介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会 委員
- 2) 令和2年度神奈川リハビリテーション事業団評議委員
- 3) 令和2年度ロボット介護機器開発・標準化事業 排泄支援(トイレ)機器分科会 委員
- 4) 令和2年度ロボット介護機器開発・標準化事業 排泄支援(排泄動作支援)分科会 委員
- 5) ヨスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会委員

5 社会貢献

- 1) 神奈川リハセンター 評議委員として評議委員会に出席した 7月10日
- 2) 第1回「排泄動作支援機器分科会」会議 9月16日
- 3) ヨスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会(第7回)会議参加1月25日
- 4) 第2回「排泄動作支援機器分科会会議」2月1日
- 5) 第3回「排泄動作支援機器分科会」会議 2月10日

6 講演，放送

- 1) ALTURA 講習会を「臨床で役立つ動作分析方法～生態心理学的視点を加えて～」のテーマでビデオ撮影6月8日実施
- 2) ALTURA 講習会を「脊髄損傷の作業療法」「片麻痺の作業療法」のテーマでビデオ撮影6月9日実施
- 3) ALTURA 講習会を「福祉用具」のテーマでビデオ撮影8月24日実施
- 4) gene 講習会を「臨床で役立つ動作分析方法～生態心理学的視点を加えて～」のテーマでビデオ撮影9月13日実施

7 学会等での活動

- 1) インクルーシブデザイン第2回ワーキンググループにおいて講演 2021年9月15日

8 学内教育活動

- 1) 臨床指導者会議の運営を実施した
- 2) コロナ対策を準備した上で、対面にて3年生対象に実習に向けての身体障害領域の特別講義4日各2コマ実施した
- 3) 実際の頸髄損傷患者さんを見たことのない学生のために、臨床でのビデオを編集し講義の資料を作成
- 4) 身体障害作業療法演習において客観的臨床テスト(オスキー)を実施
- 5) 実際の患者さんを見たことのない学生のために、コロナ対策を準備した上で、対面に

て日常生活援助論において頸髄損傷者及び脳卒中者を招聘し、実践的な教育を実施した

- 6) 人事小委員会にて昇任人事の委員
- 7) 臨床総合実習にて、コロナによる実習拒否実習地の代替え実習地を確保した。
- 8) 卒業研究において、4名のゼミ学生を指導し卒業・就職まで支援した。
- 9) 大学院前期課程の3名のゼミ生を指導し、1名が修了となった。

9 学内各種委員会活動

- 1) 全ての入試試験において面接官担当
- 2) オープンキャンパス参加
- 3) 動物実験委員会
- 4) 時間割ワーキング委員会

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 東京大学インクルーシブ・デザイン・ラボ プロジェクトの研究

白濱 勲二（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) Shirahama K, Fudano Y, Imai K, Kawabata A, Mihara N, Yasuda T. The role of the functional independence measure score in predicting the home discharge of inpatients with cerebrovascular diseases in convalescent rehabilitation wards. J Phys Ther Sci. 2020 Jun;32(6):385-390.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 白濱勲二. 日本作業療法学会 演題査読委員
- 2) 白濱勲二. 日本作業療法学会 事例報告登録制度審査委員（A 審査）
- 3) 白濱勲二. 学術誌 作業療法学 第1 査読者
- 4) 白濱勲二. 日本作業療法研究学会雑誌 理事・編集同人
- 5) 白濱勲二. 三浦半島作業療法研究会 理事
- 6) 白濱勲二. 第 53 回日本作業療法学会（新潟）演題査読
- 7) 白濱勲二. 第 53 回日本作業療法学会（新潟）口述発表座長

5 社会貢献

- 1) 白濱勲二. 横須賀市社会福祉協議会 高齢者身体測定会 2021.10.
- 2) 白濱勲二. 新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部保健所支援（平塚保健福祉事務所）2021.1.22～2.14
- 3) 白濱勲二. ミニオープンキャンパスの企画・運営、オンライン進路相談会の実施、2020.8.12. 2021.3.25
- 4) 白濱勲二. 大学説明会. 川崎市立川崎高等学校、2021.3.15 川崎市立高津高等学校 2021.3.17.

6 講演，放送

- 1) 白濱勲二. 神奈川県作業療法士会 臨床実習指導者研修会 講師、2021.3.13

7 学会等での活動

- 1) 白濱 勲二, 黒澤千尋, 安田 大典. 地域在住高齢者におけるフレイル予防に対する早期介入・評価項目の検討. 第 53 回日本作業療法研究学会（新潟），2020 年 9 月 25-27 日.
- 2) 宮内貴之, 佐々木祥太郎, 佐々木洋子, 最上谷拓磨, 白濱勲二. 急性期くも膜下出血患者の注意機能の行動観察評価と日常生活活動の自立度の推移. 第 14 回日本作業療法研究学会（千葉）. 2020 年 11 月 14 日～11 月 15 日.

8 学内教育活動

- 1) 白濱勲二. 学部担当科目等の視聴覚教材製作
- 2) 白濱勲二. 学部卒業研究指導
- 3) 白濱勲二. 学部 4 年生担任

- 4) 白濱勲二. 保健学研究科における講義、演習、研究指導。
 - 5) 白濱勲二. 博士課程前期 指導教員および大学院生の教育・研究指導
 - 6) 白濱勲二. 博士課程後期 指導補助教員および大学院生の教育・研究指導
- 9 学内各種委員会活動
- 1) 白濱勲二. 教務委員会 2020年4月～現在
 - 2) 白濱勲二. 進学相談会. パシフィコ横浜 2020.9.27
- 11 学内研究助成金の受託
- 1) 黒澤千尋、玉垣努、白濱勲二、藤田峰子、小池友佳子. 地域在住自立高齢者における運動および認知機能の調査 109,000円. 2021年4月1日～2022年 3月31日

長山 洋史 (大学院保健福祉学研究科兼務)

2 学術論文

- 1) **Nagayama H** (Corresponding author) , Tomori K, Ikeda K, Yamauchi K. Medical Costs and Readmissions After Intensive Poststroke Rehabilitation: Japanese Claims Data. J Am Med Dir Assoc. 2021 Jan doi: 10.1016/j.jamda.2020.12.015. Epub ahead of print. PMID: 33476570.
- 2) Yamaguchi S, Okutsu M, Tomori K, **Nagayama H**, Okita Y. Effects of collaborative consultation using iPad application in school-based occupational therapy: A single-arm pre-post pilot study. Aust Occup Ther J. 2020 Sep 30. doi: 10.1111/1440-1630.12703. Epub ahead of print. PMID: 32996147.
- 3) 石川哲也, 林純子, 友利幸之介, **長山洋史**.入院患者に対して作業選択意思決定支援ソフト (Aid for Decision-making in Occupation Choice) を用いた目標設定の可否に関する後方視的研究: 日本臨床作業療法研究 7(1): 46-51, 2020.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本臨床作業療法学会誌 論文査読委員
- 2) 日本作業療法士協会 組織的学術研究体制ワーキンググループ 委員
- 3) 日本作業療法学会 演題査読委員
- 4) 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員

5 社会貢献

- 1) Health and Quality of Life Outcomes Ad-hoc reviewer 2 件
- 2) Health Service Research Ad-hoc reviewer 1 件

7 学会等での活動

- 1) 第 54 回日本作業療法学会 シンポジウム組織的学術研究体制構築の取り組み.
シンポジスト:
長山 洋史. データベースから導く新たな作業療法研究の可能性 -日々の臨床からビッグデータへ-.

8 学内教育活動

- 1) 大学院前期博士課程 3 名 指導教員
- 2) 身体機能評価学 I 科目責任者
- 3) 身体機能評価学 II 科目責任者
- 4) 評価学演習 科目責任者
- 5) 運動学 科目責任者
- 6) 作業療法概論
- 7) 地域作業療法学
- 8) 日常生活活動論
- 9) 研究法

- 10) 機能障害作業療法学
- 11) 機能障害作業療法学演習
- 12) 学部1年生担任

9 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員
- 2) チューター

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金 基盤研究 B:「脳卒中患者の全体像予測システムに基づくリハビリテーション治療戦略」研究代表者
- 2) 科学研究費補助金 基盤研究 C 分担研究者

小河原 格也 (大学院保健福祉学研究科兼務)

1 著書

- 1) 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）および認知症施策推進大綱の概要：日本作業療法士協会(編), 認知症初期集中支援第一作業療法士の役割と視点－第2版

2 学術論文

- 1) Naoshin Yoshida, Tomotaka Suzuki, Kakuya Ogahara, Toshio Higashi, Kenichi Sugawara. Somatosensory temporal discrimination threshold changes during motor learning. Somatosens Mot Res. 2020 Dec;37(4):313-319.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県作業療法士会 代議員
- 2) 日本作業療法士協会事例登録 審査委員
- 3) 日本臨床作業療法研究 査読委員
- 4) 三浦市地域包括支援センター運営懇談会 構成員

5 社会貢献

- 1) グループホームいずみ運営推進会議 構成員
- 2) 小規模多機能なかよし運営推進会議 構成員
- 3) RUN 伴+三浦半島
- 4) 認知症フレンドリーよこすか
- 5) オープンキャンパス

7 学会等での活動

- 1) Naoki Takashi, Michael J. McCarthy, Rie Suzuki, Kakuya Ogahara, Masako Kihara, Masahiro Kihara, Takeo Nakayama. Dyadic Agreement in the Perceptions of Patient Disability Between the Stroke Patient and Rehabilitation Therapist. Gerontological Society of America 2020 Annual Scientific Meeting (Online). November 4 to 7, 2020.

8 学内教育活動

- 1) 老年期作業療法学, 老年期作業療法学演習 科目責任者
- 2) 地域作業療法学, 地域作業療法学演習 科目責任者
- 3) 学部担当科目 (一部担当)
作業療法概論, 評価学概論, 運動学, 作業運動学, 遊び・余暇活動治療学, 作業療法理論, 卒業研究, 在宅看護学, 評価学実習 I・II, 総合臨床実習 I・II
- 4) 大学院担当科目 (一部担当)
機能障害作業療法学, 機能障害作業療法演習
- 5) 学部卒業研究指導 (3年生3名, 4年生2名)
- 6) 大学院副指導教員 (2名)

- 7) 作業療法学専攻 3 年生担任
 - 8) windsurfing サークル顧問
 - 9) SPOT サークル顧問
- 9 学内各種委員会活動
- 1) 地域貢献研究センター 地域貢献部門委員
 - 2) 広報委員会
 - 3) 新カリキュラム実習検討委員
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
- 1) 科学研究費補助金・若手研究
「高齢者の運動学習における脳内活動の縦断的変化と補助手段活用による促進効果の
検証」小河原格也
 - 2) 科学研究費補助金・基盤研究(C) 分担
「脳卒中患者に対する退院前訪問指導マニュアルの開発」黒河内仙奈, 間瀬由記, 島津
尚子, 小河原格也, 末田千恵

池田 公平

2 学術論文

- 1) 池田公平, 笹田哲: 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中片麻痺患者の主観的経験が作業に及ぼす影響. 作業療法, 39(4), 433-441, 2020.
- 2) 池田公平, 笹田哲: 回復期リハビリテーション病棟入院患者に対してセラピストが実践している多職種連携実践の可視化. 日本作業療法研究学会雑誌, 23(1), 37-45, 2020.
- 3) Hirofumi Nagayama, Kounosuke Tomori, Kouhei Ikeda, Keita Yamauchi: Medical costs and readmissions after intensive post-stroke rehabilitation: Japanese claims data. Journal of the American Medical Directors. Jan 18, 2021. DOI:<https://doi.org/10.1016/j.jamda.2020.12.015>

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県作業療法士協会 事務局員
- 2) 神奈川県作業療法士協会 選挙管理委員 選挙管理委員長

5 社会貢献

- 1) 医療法人 横浜未来ヘルスケアシステム よこすか浦賀病院

7 学会等での活動

- 1) 佐藤慶一, 池田公平, 笹田哲: 回復期リハビリテーション病棟の作業療法士が脳血管障害者のトイレ動作を自立と判断するプロセス-文献レビューより-. 第54回日本作業療法学会 (新潟). ポスター発表.
- 2) 金原衣理子, 池田公平, 笹田哲: ファッションショーを通してみられた脳血管障害者の心理・行動の変化. 第54回日本作業療法学会 (新潟). ポスター発表.
- 3) 森木勇一郎, 中村拓人, 池田公平, 笹田哲. 介護保険施設において作業療法士が介護職と連携する為の方略. 第54回日本作業療法学会 (新潟). ポスター発表.

8 学内教育活動

- 1) 評価学概論 科目責任者
- 2) 身体機能評価学 I 15 コマ
- 3) 身体機能評価学 II 15 コマ
- 4) 評価学演習 15 コマ
- 5) 作業療法概論 1 コマ
- 6) 身体障害作業療法学演習 (試験補助)
- 7) 臨床作業療法学演習 科目責任者
- 8) 作業療法管理運営 1 コマ
- 9) 解剖学実習 II (引率)
- 10) 学内実習 総合臨床実習 II (8 週間), 評価学実習 II (2 名 4 週間), 評価学実習 I (3 コマ)
- 11) 総合臨床実習 II 科目責任者

12) 運動学 15 コマ

9 学内各種委員会活動

- 1) 図書委員会に在籍
- 2) 入学式・卒業式・修了式委員会

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 20K19452, 2020 年度若手研究, 脳卒中後遺症患者の自立支援のための多職種連携評価尺度の開発

11 学内研究助成金の受託

- 1) 黒河内仙奈研究代表者, 岸川学, 池田公平, 長島俊輔, 内海淳. 谷戸地区で暮らす住民の健康増進活動に関する実態調査. 地域貢献研究センター研究助成, 250 千円, 2020. 5. 1～2021. 3. 31.

杉村 直哉

2 学術論文

- 1) 島田岳, 大堀愛美, 稲垣佑輔, 下岡佑子, 石原郁代, 杉村直哉, 田中佐千恵, 小林正義 (2020) : 統合失調症患者の再入院予防に対する個別作業療法の効果 : 2 年間の前向きコホート研究. 精神経誌 122 (4): 249-260
- 2) Naoya Sugimura, Hisashi Eguchi, Kosuke Mafune, Takayuki Okuhara, Hisanori Hiro (2021) : Spouse Factors Related to the Leave Period of Employees on Temporary Leave for Depression. JUOE 43 (1): 41-50
- 3) 杉村直哉, 丹治梓, 高橋健, 武井勇樹, 廣尚典 (2021). ブルドン抹消検査に影響を与える要因の検討. 日本うつ病リワーク協会誌 (印刷中).

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 委員 : 一般社団法人日本作業療法士協会 学術部
- 2) 委員 : 神奈川県作業療法士会 教育部
- 3) ネットワーク : 信州精神科作業療法研究会メーリングリスト 管理者
- 4) 学会 : 第 3 回日本うつ病リワーク協会年次大会 (2020 年 4 月) 運営委員

5 社会貢献

- 1) 研究指導 : 非常勤勤務する医療施設において研究指導を実施 (通年)
- 2) 臨床活動 : 非常勤勤務する医療施設においてプログラムを担当 (1 回/週)

7 学会等での活動

- 1) 2020 年 4 月 第 3 回日本うつ病リワーク協会年次大会
杉村直哉, 高橋健, 武井勇樹, 木村真実, 京極明季, 糠信ひなた, 堀江裕介 : リワークプログラム実施期間と就労継続の関連 ~ 単一医療施設における後ろ向きコホート ~. (ポスター発表)
- 2) 2020 年 9 月 第 54 回日本作業療法学会
杉村直哉, 高橋健, 武井勇樹, 廣尚典 : ブルドン抹消検査の臨床的有用性の検討. (ポスター発表)
- 3) 2020 年 12 月 第 28 回日本産業ストレス学会
杉村直哉, 江口尚, 真船浩介, 廣尚典 : うつ病休職者の休業期間に関連する配偶者要因の検討. (ポスター発表)

8 学内教育活動

1) 授業関連

【科目責任】

「基礎作業学実習 (1 年次)」

適切な感染対策を施し, 学生をグループ化し, 入れ替え制による対面授業 (実技) を実施した. またオンライン授業では包括的作業分析を教示した. また, 当科目にかかわる国家試験問題を学習早期から意識づけるよう資料を作成する等の工夫をした.

「評価学実習 I および II」

評価学実習 I および II は学内実習への変更に伴い、学内実習の実施形態の検討を行った。

【卒業研究】

4 年生 1 名, 3 年生 1 名を担当した。各種作業検査の結果から、基本的な統計処理について教示し、論文指導を行った。

【一部担当科目】

- ・作業療法学概論(1 年次):精神障害作業療法の歴史
- ・感覚運動アプローチ論(3 年次):精神障害へのアプローチ
- ・精神障害作業療法学演習(3 年次):精神科デイケア
- ・遊び余暇活動治療学(3 年次):リラクゼーション法
- ・産業リハビリテーション特論(3 年次):産業精神保健・職業性ストレスについて
- ・就業援助論(3 年次):気分障害の職場復帰支援について
- ・評価学概論(1 年次):作業面接について
- ・作業療法運営管理(4 年次):管理運営, 国家試験対策
- ・臨床作業療法学実習(3 年次):精神科 OSCE マニュアルと試験問題を作成, 試験当日の試験官

【実習】

- ・評価学実習 II (3 年次) : 学内実習 学生 2 名担当
 - ・総合臨床実習 II (4 年次) : 学内実習 学生 2 名担当
 - ・総合臨床実習 I (3 年次) : 学外実習 学生 4 名担当, 実習地訪問
 - ・評価学実習 I (2 年次) : 学内実習 学生 20 名に対し 1 講座を担当
- 2) 臨床実習に係る業務 (学生支援, 実習関連書類作成, 等)
実習地や実習センターとの調整, 学生に対するオリエンテーションの実施, 資料作成, 発送, 臨床実習指導者会議のセッティングなど臨床実習に係る業務
- 3) 就職支援に関連する業務
就職履歴書指導, 小論文指導, 面接指導など就職支援に係る業務
- 4) 国家試験に対する支援業務
4 年生の国家試験の学習支援. 理学療法学専攻の国試対策講座「精神医学・臨床心理学」を担当。

9 学内各種委員会活動

実習センター運営委員会

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (2020 年度) 研究期間 : 2019.5.~2022.3. 交付金額 629 千円

12 受賞

- 1) 2020 年 12 月 第 28 回日本産業ストレス学会 優秀演題賞

14 その他

- 1) 2021 年 3 月 博士号取得 : 産業医科大学 (産業衛生学)

中村 拓人

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 作業科学研究会国際交流部員として文献翻訳などの活動を行う
- 2) 作業遂行研究会主催の第1回 CO-OP 事例報告会にて事例報告を行う

5 社会貢献

- 1) 発達障害児に関わる支援者を対象とした「気になる子どもの学習と生活研究会」の運営を行う
- 2) 子どもと家族を対象とした「体の使い方教室」の運営を行う

7 学会等での活動

- 1) 重田優子，中村拓人，笹田哲：男性脳卒中者が地域において役割を持ち社会参加を継続していくプロセス-複線径路等至性アプローチを用いた質的研究-. 第54回日本作業療法学会(新潟/web). 2020.9.
- 2) 森木勇一郎，池田公平，中村拓人，笹田哲：介護老人保健施設において作業療法士が介護職と連携する為の方略.第54 日本作業療法学会(新潟/web).2020.9
- 3) 塩津裕康，中村拓人，倉澤茂樹：認知戦略と作業療法-発達障害児とその家族に対するアプローチの文献レビュー-. 第54回日本作業療法学会(新潟/web). 2020.9.
- 4) 高見澤広太，中村拓人，笹田哲：発達領域における書字動作への取り組み 一文献研究一. 第54回日本作業療法学会(新潟/Web). 2020.9
- 5) 佐野未歩，中村拓人，長山洋史，笹田哲：自閉スペクトラム症児のための参加質問紙の開発-項目の開発と作業療法士による内容妥当性の検証-. 日本発達系作業療法学会(名古屋/web) 2021.2
- 6) 小山さくみ，中村拓人，長山洋史，笹田哲：自閉スペクトラム症児のための参加質問紙の開発-多職種と研究者による内容妥当性の検証-. 日本発達系作業療法学会(名古屋/web) 2021.2

8 学内教育活動

- 1) 「作業適用学」(科目責任者)
- 2) 「発達系評価学」(補助としてほとんどの講義に参加し,およそ半分程度の講義を受け持つ)
- 3) 「発達障害作業療法学」(補助としてほとんどの講義に参加し,およそ半分程度の講義を受け持つ)
- 4) 「総合臨床実習 I」(科目責任者)
- 5) 「発達障害作業療法学演習」(補助として全ての講義に参加し,およそ7割程度の授業を担当)
- 6) 「遊び余暇活動治療学」(補助として全ての講義に参加し,およそ7割程度の授業を担当)
- 7) 「地域作業療法学」(一部の講義を担当)
- 8) 「感覚運動アプローチ論」(一部の講義を担当)

- 9) 「作業療法研究法」(一部の講義を担当)
- 10) 「臨床作業用法学演習」(実技試験(OSCE)を担当)
- 11) 「作業療法管理運営」(一部の講義を担当)
- 12) 「ヒューマンサービス演習」(補助教員として授業のサポートを担当)
- 13) 「作業療法学特別研究」(1名のゼミ生を受け持ち指導)
- 14) 「進路指導」(就職の面接練習や履歴書の作成の補助)
- 15) 大学院生(修士)の研究に対し、適宜指導・助言

9 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会
- 2) 進路指導ワーキンググループ
- 3) 自己評価委員会

11 学内研究助成金の受託

- 1) 学内研究助成 B の交付を受ける(研究課題名:作業療法の効果測定のための「幼児期自閉スペクトラム症児の包括的作業従事尺度」の開発に関する研究)